

質問内容	答弁内容
<p>一 新型コロナウイルス感染症対策の強化について (一) 新型コロナウイルス感染拡大の受け止めについて 新型コロナウイルス感染症の新規感染者が北海道は過去最高を更新し、11月は、10万人当たり全国最悪となっています。過去30日間の100万人当たり死者数は96.6人と、全国比で群を抜いて、多くの命が奪われています。この状況を知事は重く受けとめているのかまず伺います。</p> <p>再一 (一) 感染を抑制できない理由等について 11月の新規感染者は10月の2.6倍の23万800人にのぼります。死者数は実に4.1倍の585人にのぼります。死亡率は上昇しています。知事は、行動を緩和する一方、対策強化宣言をせず、有効な対策をとってないと言えます。医療現場のひっ迫により、高齢者施設では、必要な入院治療が受けられないと声が上がっていますし、知事は、感染を抑制できない理由をどう考え、宣言を出さないなら、どう対策を強化するのか伺います。</p> <p>(三) 新型コロナウイルス感染症対策の強化、地域医療体制の構築について 道は、インフルエンザとの同時流行を2万9千人と見込んでいますが、基本は自宅療養であり、自己責任です。私は保健福祉委員会で、自己検査による把握の信ぴょう性や、陽性者健康サポートセンターの受診抑制的な対応も問題と指摘をいたしました。 地域医療では、すでに夜間・休日に対応しきれない現状となっています。必要な受診と入院をどう見込み、各圏域に必要な発熱外来や病床をどのように確保し、地域医療体制をどう構築し、新たに感染予防対策をどのように強化していくのか伺います。</p>	<p>【知事】 新型コロナウイルス感染症対策に関し、まず道内の感染状況等についてであります。道内においては、10月下旬以降、この夏の感染拡大と同様にBA.5系統により、感染が再拡大するなか、11月に入り、日々の新規感染者数は過去最多を更新し、10万人当たりの新規感染者数も全国最多が続くなど、感染レベルは高い状況にあるものと認識をしております。 また、新規感染者数に対する死亡者の割合には大きな変化が見られない中、新規感染者数の増加に伴い、お亡くなりになる方は増加をしており、同様に高齢者施設や医療機関等で集団感染がひん発するなどして、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方等にも感染が広がっていることから、道民の皆様、本道の厳しい実情をお伝えしつつ、基本的な感染防止対策の再徹底やワクチンの速やかな接種の検討とともに、とりわけ、高齢者の方と接する場合には検査をしていただくことなどが、道民の皆様の命や健康を守る上で、極めて重要と考えております。</p> <p>【知事】 最初に新型コロナウイルス感染症対策に関し、まず道内の感染状況等についてであります。新規感染者数の増加に伴い、高齢者施設や医療機関等で集団感染がひん発するなど、重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患のある方にも感染が広がっていることから、道民の皆様には、本道の厳しい実情をお伝えしつつ、また、年末年始は人の動きが活発になることから、マスクの着用や手指衛生、一層の換気などの自主的な感染防止行動の更なる徹底や軽症者の自己検査へのご協力とともに、とりわけ、高齢者の方と接する場合には検査をしていただくことなどについて、様々な媒体を活用して積極的に呼びかけてまいります。</p> <p>【知事】 同時流行を想定した医療提供体制についてであります。本道は、オミクロン株による感染の再拡大に伴い、発熱外来を受診する患者が増加するとともに、病床使用率も全道で5割を超え、圏域によっては、6割を超える状況が続く中、高齢者等の重症化リスクの高い方が、適切に医療を受けられる体制の整備が重要と認識しています。 このため、道では、地域の医療機関のご理解・ご協力をいただきながら、コロナ患者に対応する病床の確保を進めてきたほか、季節性インフルエンザとの同時流行も想定しつつ、そのピーク時の1日当たり患者数を、2万9千人程度と推計し、このうち、医療機関を受診すると想定される患者を約2万4,700人と見込んだ上で、医療機関への調査結果などを基に、通常の診療可能数、約1万5千人を、診療時</p>

質 問 内 容	答 弁 内 容
<p>再一（三）必要な病床の確保について</p> <p>2日の参院予算委員会で、我が党の紙智子参議は本道の現状とともに、緊急支援事業の再開について質問しました。「全国知事会でも緊急提言している。亡くならなくてもいい命が奪われている。即時に判断すべきだ」と質し、加藤厚労大臣から、「地域の要望を聞いて、適切に対応する」との答弁を引き出しました。道は、必要な病床確保について、どう対応していくのか伺います。</p>	<p>間の延長など、医療機関に最大限、ご協力をいただいた場合の診療可能数として、約3万1千人とし、医療機関に、その実情に即した外来診療のご協力を依頼するなどして、地域の対応力の底上げを図るとともに、一般医療への影響や医療機関の負担が軽減されるよう、陽性者登録センターの拡充にも、積極的に取り組んできたところであります。</p> <p>今後とも、地域の医療機関と連携し、こうした取組を進めるとともに、道民の皆様には、本道の厳しい実情をしっかりとお伝えしつつ、年末年始は人の動きが活発になることから、マスクの着用や手指衛生、一層の換気などの自主的な感染防止行動の更なる徹底や軽症者の自己検査等へのご協力について、様々な媒体を活用して積極的に呼びかけるなどしながら、感染拡大を抑制しつつ、医療のひっ迫を回避し、治療が必要な方々が、適切な医療を円滑に受けられるよう、医療提供体制の確保に向け、力を尽くしてまいります。</p> <p>【知事】</p> <p>病床の確保についてであります。道では、オミクロン株による感染の再拡大により、地域によっては、コロナ患者に対応する病床が厳しい状況にある中、地域の医療機関のご理解と、ご協力をいただきながら、病床確保を進めてきているほか、新たに病床を確保した医療機関に対する国の「緊急支援事業」の実施についても、早急に検討するよう、全国知事会と連携しながら、国に働きかけを行っているところであります。私も、先月、厚生労働大臣に直接お会いして、本道の実情を訴えるなどし、強く求めてきたところであります。</p> <p>道としては、十分かつ継続的な財政措置を行うよう、引き続き、国へ働きかけるとともに、補助制度や診療報酬の加算なども周知しつつ、医療機関への必要な支援を行うなどしながら、入院治療が必要な方々が、適切に医療を受けることができるよう、医療提供体制の確保に努めてまいります。</p>